

学園評価アンケート 2020



学園評価アンケートは…

その年の教育活動の推進状況や成果等について、保護者や地域の皆さまからご意見をいただき次年度の学園、学校教育の向上を図ることを目的として実施しています。

評価部内で自由記述について

話し合いを行い、4つのキーワードにてまとめた。考察結果は3校長に報告。学園としての考えは以下のとおり。



マスクをしましょう

今年度は、WEBアンケートを実施。
⇒回答率：67%

コロナによる、環境の変化「学校」「家庭」の子どもの様子などを知り、今後の教育に反映できるように自由記述にコロナに関する設問を追加。

いじめ



「いじめ」「不登校」「行き渋り」の実態把握

今後の具体的対策

いじめは、あってはならないが、必ずある、との思いから丁寧に実態を把握し、校長の責任において教育委員会にも報告を挙げているところです。

そのそれぞれのケースに対して的確に対応し指導を継続して解消まで見届けその後も見守っていきます。関係生徒・児童の保護者にも丁寧に説明し納得を得ながら連携して解決を図っていきます。

不登校については定義が難しいのでケースに応じてご家庭や関係諸機関と連携して丁寧に当事者の納得を得ながら解決を図っていきます。

学習



コロナの影響により振替授業が増え負担⇒土曜日以外への振替

リモート授業を「緊急事態宣言下」以外でも活用

引き続き、主体的・対話的で深い学びを通して必要な資質・能力を育てていきます。タブレット端末の導入を踏まえ、子ども自身が自学・自習できるということを最終目標として見据え、学びに向かう態度や思考力・判断力・表現力を高めていきます。ご家庭とも連携してタブレット端末使用のモラルやルールを徹底していきます。活用しながら進めていきますので一定の期間が必要です。

タブレット端末が一人一台となったことで学校と家庭の相互連絡に使用する方向性

授業、行事のライブ配信

【IT・デジタル化】

2月から子どもの出欠や健康状態について、タブレット端末で連絡する体制づくりが三鷹市全体で進んでいます。今後、コロナの状況によってはタブレット端末を連絡帳や面談、保護者会などにも活用できるよう準備を進めていきます。オンライン授業についてもできることを考えています。鷹南学園では三鷹市のパイロットケースとして1、2月にオンライン授業を試行しています。今後、休校などの措置に備え、すぐに実施できる体制を整えていきたいと思っております。登校できない子どもに対しても活用したいと考えています。

IT・デジタル化 (情報公開・発信)



ホームページへ学校の様子、情報を増やす

欠席者へオンライン授業を開催

【情報公開・発信】

配布されたタブレット端末は、自身のネットワーク以外に情報が出せない仕組みになっているので、タブレット端末を用いた学校の様子等の公開を考えています。

例えば学校行事等の様子を、家に置いてきたタブレット端末でご覧になることができるようにすることなどです。

* 一般のパソコンやスマホでみられるようにすることは三鷹市の規定により出来ない。

* ほかに各種便りやホームページの活用を進めていきます。

教員の言葉遣いは不安や不満につながる

教員への指導

コロナ禍での対応、対策は教員の負担が大きい⇒負担軽減策

教員全員に伝え、聞き取りをし、該当するケースについては個別に指導いたしました。全教員で指導の基本は率先垂範であること、指導のプロとしての自覚と誇りをもつことを再確認いたしました。

コロナ対応等で学校からの呼びかけに応じて、ご多用にもかかわらずボランティアに参加して下さった保護者・関係者の皆様にあらためて感謝申し上げます。学校では掃除機や空気清浄機を導入して環境改善の取り組みを強化しています。



先生方の対応

青少年対策 中原地区委員会

青少対では、子どもたちに一年を通して「旬」を伝える活動をしています。

コロナ感染のニュースが流れ始めていた昨年2月頃、卒業を祝う激励餅つき大会の計画でした。この行事だけではどうしても・・・と、何度も学校と相談をし、万全の準備で臨みました。子どもたちが仲良くおいしそうに食べている姿を見て、開催して良かったと思いました。

恒例行事のキャンプファイヤーとラジオ体操は中止になり、6年児童の「最後ののになあ」とがっかりした言葉を忘れることができません。青少対の活動をこんなに楽しみにしてくれたということに改めて感じました。

コロナ禍は続きますが、子どもたちの健やかな成長のお手伝いができるような活動をしたいです。



青少年対策 東台地区委員会

昨年は3月に予定していましたが「伝承遊び」の中止から始まり、新年度の総会も書面開催となりました。



5月に休校が明け、分散登校時の見守りを委員のボランティアで、そして11月には多くの行事が縮小されたり見送られる中、子どもたちに元気をあげたいとの思いを同じくした交通対・PTA・おやじの会と協働でランタン祭りを行いました。

終息を迎えるときがきたとしても、WITH コロナでの日常を見据えて活動の内容やその目的をも含め、新型コロナならぬ新型行事を作り上げる活動をしたいと考えています。

各校はじめ地域諸団体との連携・情報の共有・協力が大事であり、引き続きよろしくお願ひしたいと思っております。

交通安全対策 中原地区委員会

それぞれに平和で日常がくずされることなく過ごしてきた私たちだと思います。

今回のコロナでは、その日常を大きく狂わされるでことがまだ続いています。

交通対として2020年度の行事は全て中止といたしました。が、1年生と3年生は、警察の方々による交通安全教室が行われました。ルールを守ること、身につけること、それを守ることで広がっていくのが自分を守ることに繋がっていくと思っています。

みんなで一緒に体験する自転車教室、わいわいしながら緊張して自転車に乗る、知らなかったこといっぱい。いつも適当に乗っているから大人も見直してほしいところです。



これからも子どもたちが安全に過ごせるように、ルールを大切に！！少しでも協力していければ嬉しい限りです。

交通安全対策 東台地区委員会

本年度の活動について、児童、委員が多数集まる会は極力中止といたしました。

一部の委員により交通標語のとりまとめを実施し、児童たちの素直な気持ちに触れることができ大変楽しかったです。ほかに実施できたのは人数を絞って自転車教室といのちのミュージアムです。



PTA・おやじの会、青少対、交通対で行っている三者協会のイベントはペットボトルランタンで良い思い出が残せたのだと思っています。

次年度にコロナの状況はまだ先の見えないところではありますが、状況に応じてさまざまなイベントなどの活動の準備を行ってまいります。些細な不注意から起こる交通事故などを1つでも減らせていけたらと思っています。

地域子どもクラブ 中原はちのすけ

コロナ禍での安全で安心な居場所の確保を協議し7月1日から校庭開放を開始しました。遊具のまた貸しを禁止、返却ごとに遊具と子どもの手の消毒を徹底しています。年明けの緊急事態宣言により3学期の活動を一時中止していましたが、2月8日よりスタッフが見守る遊びの場として再開しました。



学校、学童保育所にご協力いただきながら、楽しく安全安心な校庭開放を基本として、今後もさまざまな経験の場を作り、社会力、人間力を培える機会にしたいと思っております。

地域子どもクラブ 東台くすのきっす

昨年5月の一斉休校が終わった後から、保護者のご協力のもと校庭開放から活動を再開してきました。いろいろなことが中止になってしまいましたが、実行委員内で話し合い、ハーバリウムの制作をやってみよう！ということになり、流行りの「鬼滅の刃」のハーバリウム制作ができました。またソフトバレーボールも再開し、2月の三鷹市の大会は中止になりましたが、「東台くすのきっす杯」は開催できました。



来年度の活動はできることを増やしなが、子どもたちの放課後の居場所作りとして活動できればと思っています。

五中 SS

五中 SS は五中生と学校のために、学習や学校生活をサポートするサポーターの集まりです。臨時休校、新しい生活様式など、今年度は誰も経験したことがない状況が続きました。

そんな中でも、毎週1回および定期テスト前に自習室を開き、夏休みには恒例となった校内整備をPTA、オヤジの会とともに実施することができました。生徒たちが安心して楽しい学校生活を送れるよう、これからもサポートしていきたいです。

